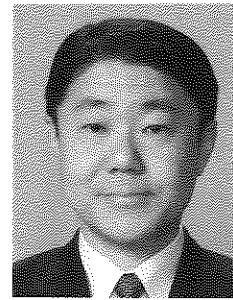


# 教誨師連盟だより

No. 59

## 公益財団法人全国教誨師連盟理事会における挨拶

法務省矯正局長 大 橋 哲



公益財団法人全国教誨師連盟理事会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から矯正行政への深い御理解と御支援を賜り、まずは、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

また、矯正施設における教誨活動のみならず、貴連盟の運営につきましても、役員として一方ならぬ御尽力をされておられますことに、心から敬意を表する次第です。

矯正施設においては、被収容者の改善更生・円滑な社会復帰を図る上で、これまで以上に民間協力者の方々の適切な役割分担、効果的な連携体制の構築が求められております。

そのような中、矯正の最も身近なパートナーである教誨師の皆様は、豊富な経験、高い見識に基づく活動は、彼らの人生に大きな希望を与え、犯罪を繰り返さない決意を強固なものにする非常に重要な活動です。

今後とも引き続き、被収容者の改善更生、社会復帰に向け、お力添えを賜りますよう、お願いいたします。本日の理事会におきましては、次年度の計画を含め、多くの重要課題が話し合われるとのことですが、その成果が今後の貴連盟の一層の発展に資するものとなりますよう願っております。

結びに当たり、皆様方の御健勝と御活躍並びに貴連盟のますますの御発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

令和二年三月二日

## ＊連盟本部

### ◎役員等の改選について

本年は評議員、理事及び監事の改選の年ですが、新型コロナウイルスの蔓延による緊急事態宣言が出され、評議員会を開催することができず、みなし評議員会という方法で改選が行われました。また、六月二三日開催の臨時理事会において正副理事長が次のとおり選任されました。

なお理事の任期は令和四年六月に開催される定時評議員会終結時まで、評議員・監事の任期は令和六年六月に開催される定時評議員会終結時までとなります。

理事長 中川文隆

副理事長 竹岡郁雄（総務 中央研修会担当）

同 高岡精司（経理担当）

同 森田順照（全国大会担当）

同 高山元延（地方大会担当）

### ◎協賛寄附金について

協賛寄附金については、勧募活動をした管区連盟へ七割を研修委託費として、二割を管区管理事務費として予算配分します。

協賛寄附をしてくださった方には、全教連から直接、寄附依頼をしております。平成三〇年度までに寄附してくださった方三二五人のうち平成三一年（令和元年）度に再度寄附をしてくださった方は二〇七人のほり、応諾率は六四%でした。

また新規にご寄附いただけただ方は六〇人でした。本部の中には、前総裁様からいただきました三百万円が含まれています。

平成31年度		
管区連盟	件数	寄附金額
札幌	46	390,000
仙台	10	155,000
東京	46	630,000
名古屋	98	1,480,000
大阪	13	100,000
広島	21	205,000
高松	9	95,000
福岡	22	252,000
本部	4	3,115,000
合計	269	6,422,000

### ◎税額控除について

全国教誨師連盟は税額控除対象法人として認定されています。

税額控除対象法人は、寄附者の善意に込めるとともに、多くの人々に支持される組織であること、社会に示し、公益性のある組織であることの証明でもあります。

税額控除対象法人への寄附は、一定の制約がありますが、確定申告をすることにより寄附金額から二千元を控除した金額の四〇%の金額が所得税から控除（税金が戻される）されます。つまり、一万円を寄附した場合、三、二〇〇円の税額が戻りますので、実質六、八〇〇円を寄附したのと同じになります。五万円を寄附した場合、実質三〇、八〇〇円の寄附をしたことと同じになります。

これらのことを氏子・檀家・信者等の知人に説明し、寄附を募っていただきたく存じます。

### ◎「教誨受講啓発用DVD」の作成について

平成三〇年度から始めた「教誨受講啓発用DVD」の制作が昨年度末に完成し、全国の矯正施設に送りました。

このDVD「心のやすらぎをもとめて」は、各施設において収容開始時の指導等に活用してもらいます。また、矯正局からもその旨の文書が発出されており、有効に活用されるものと期待しています。

### ◎新任教誨師研修について

新任教誨師研修規程が制定されて一年が経過し、各施設ではお忙しい中、しっかりと取り組んでくださっていることに感謝します。

研修実施時には弁当を取ったり茶や菓子を出すこともありますので、そのための経費として、事後になります。施設教誨師会に一万円を送るようになっています。

平成三一年（令和元年）度の新任教誨師研修の実施状況は次のとおりです。

委嘱人数九三名のところ、新任研修実施数は六九名で、新任研修実施率は七四%となっています。また、研修受講者のうち実に四五名、六五%の方が施設長から直接に訓話等のご指導を受け、教誨活動に対する認識及び意欲を新たにしています。

新任教誨師研修を受講しての感想を紹介します。

● 教誨師の使命と役割の確認をすることができ、また、教誨をどのように行っていくかに

ついでのお話を聞かせていただき、今後の活動の上に大きな参考となりました。更には、刑事施設と受刑者の日常や様々な状況についての認識も深めることができました。非常に有意義な研修でありました。

● 教誨師の役目や求められていること、矯正についてなどの話を、施設長や先輩教誨師から聞くことができたことが良かった。

● 教誨師の歴史・意義、施設の案内・状況等懇切丁寧にご説明いただき、初めての身としては非常に有難い内容でした。

● 研修の講義では、色々注意点を聞かせていただき参考になりました。特にプライベート情報に注意する点。館内見学は、日頃の受刑者の生活を教えていただき、参考となりました。

● 教誨師個人として求められる役割、全国教誨師連盟等の会員として果たさなければならぬ責務等を知ることができて良かった。

#### ◎ 矯正局との意見交換会について

全国教誨師連盟が公益財団法人へ移行し、主務（監督）官庁が法務省から内閣府へ移った平成二四年から、毎年一二月に矯正局の幹部職員と正副理事長及び参与の一八名が一堂に会し意見交換会を行っています。

意見交換会の目的は、お互いに胸襟を開いて意見を交換し、良好な協力関係を盤石なものにしようというものです。

昨年度に作成し、全国の矯正施設に配布し、入所・入院時の指導や刑執行開始時の指導に活用し

ていただいている「教誨受講啓発用DVD」制作は、この意見交換会の成果のひとつです。

このように全国的に展開する内容や多くの管区・施設にまたがるような内容については、この意見交換会で話し合うのが最適です。ここで論議検討してもらいたいと思われる事項がありましたら、遠慮なく正副理事長や事務局へご連絡願います。

施設での教誨活動状況の改善要望等については、それぞれの施設教誨師会において施設側と意見交換会を開催し、よりよい方向へ進めて行くようにしていただきたく存じます。

#### ◎ 教誨師全国大会について

本年度は二年に一度の全国大会の実施を一月一日・一日に鹿児島県で開催することを計画していましたが、大会開催には遅くとも八月初旬には参加者名簿の確定をする必要があります。しかしながら新型コロナウイルス蔓延の影響により、五〇〇人以上が集う大会が認められるか否か明確ではありません。また、参加者側の都道府県においても他県への移動自粛要請が再度行われないうも限りません。

ちなみに一〇月三日から開催予定の「かごしま国体」については一年間の延期とのことです。

そこで教誨師全国大会についても、一年延期とするのか中止とするのかあるいは他の方法がよいのかについて理事会で検討いたしました。

結果、本年度の全国大会は中止とし、福岡管区担当の全国大会は六年後となりました。

#### ◎ 中央研修会について

一〇月八日・九日に開催予定の中央研修会は、当初八〇名の新任教誨師を対象に実施することを計画していましたが、変更せざるを得ない状況になってきました。理由は新型コロナウイルスの影響で、法務省の大会議室の使用人数の制限が設定される見込みであるとの情報を得たことからです。そこで、研修担当者を各管区三〇五名を集め、新任教誨師研修の実施要領に関する研修を行うことなども検討しましたが、今回の理事会で検討した結果、本年度は中止となりました。

#### ◎ 地方研修会について

新型コロナウイルスの影響による地方大会の状況は次のとおりです。

中止 札幌管区 仙台管区 東京管区  
大阪管区 広島管区 高松管区  
福岡管区  
延期の上実施予定 名古屋管区

#### ◎ 国内自主研修について

本年度も教誨師国内自主研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延の影響により、日程等も含め開催が困難になりましたので開催を中止します。

ちなみに第一回は京都刑務所、第二回は富山刑務所でした。

#### ◎ 京都コンgresについて

五年に一度開催される犯罪防止・刑事司法分野における国連最大規模の国際会議である第一四回

国際連合犯罪防止刑事司法会議（コングレス）が、二〇二〇年四月二〇日（月）から二七日（月）までの八日間、京都・国立京都国際会館において開催される予定で、当連盟も参加することで準備を進めておりましたが、新型コロナウイルスの全世界蔓延のため延期となりました。現在のところ開催の日程は未定です。

◎「矯正展」における広報活動について

矯正展等において教誨師の活動を広報するアイテムとして大判のタペストリー風ポスター、A4三つ折りのリーフレット、メモ帳を作成しています。タペストリー風ポスターは各管区事務局に置き、必要の都度貸し出すようにしてもらうことを考えています。電話をいただければ、リーフレットは全国教誨師連盟の事務局から直送し、メモ帳は制作を依頼した前橋刑務所から送料着払いで送ってまいります。

広報活動に係る経費については、管区管理事務費を充てただければ幸いです。

本年は新型コロナウイルスの蔓延により矯正展の中止も少なからずあるようですが、実施される場合は、是非広報活動に努めていただきたく存じます。



✿ 平成三一年（令和元年）度事業報告

1 教誨師研修会関係

第五四回教誨師中央研修会（JK A補助事業）  
開催日 令和元年九月三日～五日  
場 所 東京都千代田区 法務省地下大会議室

参加者 総数 一〇八名

教誨師七三名・矯正施設関係者一名・その他関係者三四名

目的

教誨師として委嘱されてからおおむね五年未満の教誨師で、中央研修会に出席経験のない教誨師を対象として、矯正行政の施策や方向性並びに矯正施設の収容動向等について理解を深め、「教誨師として何をすべきか」というテーマで必要とされる基本的情報・知識・技術等の向上を図る。

基調講演

「矯正行政の現状と課題」

法務省矯正局長 名 執 雅 子 氏  
講 義

「教誨師とは」

全国教誨師連盟企画実行委員 嵩 海史  
全国教誨師連盟企画実行委員 油谷 弘幸

記念講演

「教誨師に期待すること」

フレイ法律事務所 弁護士 梶 木 壽 氏

分科会（班別討議）

「教誨師に願われていること」

司 会

全国教誨師連盟企画実行委員 林 秀典

全体会

班別討議の結果について各班代表者による発表

司 会

2 第五五回札幌矯正管区教誨師研修大会（JK A補助事業）  
開催日 令和元年六月六日～七日

場 所

岩見沢市 北海道グリーンランド  
ホテルサンプラザ

参加者 総数 一二七名

教誨師七七名・矯正施設関係者四三名・その他関係者七名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「心に燈をともし、  
「心に燈をともし、  
目的

被収容者が真摯に自己の問題性と向き合い、今後の人生が安らげるものとなるような教誨活動の在り方を考察する。

記念講演

「精神科臨床とスピリチュリティ」  
「心の癒しと心の成長」

北星学園大学社会福祉学部教授

田 辺 等 氏

研究発表

・「生きるという積極性について  
「祈り・願いと実行」

旭川刑務所所属教誨師 阿部 眞猛

・「心の平安～いま、ここの坐禅～」

帯広刑務所・帯広少年院所属教誨師

織田 秀道

・「春の雪、そして、心を聴く」

3 月形学園所属教誨師 橘 宝召  
第六一回仙台矯正管区教誨師研修青森大会

(JKA補助事業)

開催日 令和元年一〇月三日～四日

場所 青森市 ホテル青森

参加者 総数 一二四名

教誨師七八名・矯正施設関係者二九

名・その他関係者一七名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「自分を見つめなおす宗教教誨」

目 的

仙台矯正管区管内の教誨師が一堂に会し、  
矯正施設における被収容者の宗教による教  
化方策について研修・討議する。

記念講演

「元極道牧師の体当たり更生支援」

「罪の友」主イエス・キリスト教会牧師

進 藤 龍 也 氏

研究討議

「被収容者の自分を見つめなおす宗教教誨」

・「あわてないあわてない。ひとやすみひと

やすみ」

発表者

宮城県教誨師会所属教誨師 大内 顕龍

・「共に生きる」

発表者

秋田県教誨師会所属教誨師 寺本 憲昭

・「仏仏祖祖皆本は凡夫なり。」を手掛かり

に「つながり」を築く、気づきの教誨」

発表者

山形県教誨師会所属教誨師 深瀬 俊路

・「収穫感謝祭をとおして」

発表者

岩手県教誨師会所属教誨師 一條 善人

4 第六二回東京矯正管区教誨師研修東京大会

(JKA補助事業)

開催日 令和元年六月五日～六日

場所 東京都港区 明治記念館

参加者 総数 三六九名

教誨師二二一名・矯正施設関係者

六六名・その他関係者七二名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「教誨師に求められること」

目 的

昨今の社会情勢と同様に、矯正の現場も  
めまぐるしく変化している。

本研修大会では、矯正の現状を様々な視

点から見つめ、情報を共有しながら、教誨

師に求められることを検討することで、教

誨活動に必要な幅広い知識や技能を習得し、

教誨活動の向上を図ることを目的とする。

講 演

「矯正の現状」

東京矯正管区長 島 孝一 氏

パネルディスカッション

「教誨師に求められること」

司 会

東京拘置所所属教誨師 若狭 一廣

パネラー

多摩少年院所属教誨師 佐藤 秀仁

愛光女子学園所属教誨師 喜代多 證顕

府中刑務所教育専門官

谷澤 正次 氏

グループディスカッション

「教誨師に求められること」

施設職員を含めた六人グループによるフ

リートーク

記念講演

「犯罪心理学とプロファイリング」

社会病理学者 北 芝 健 氏

5 第六三回名古屋矯正管区教誨師研修大会 (J

KA補助事業)

開催日 令和元年六月一日～二日

場所 岐阜市 岐阜グランドホテル

参加者 総数 一六〇名

教誨師八七名・矯正施設関係者五七

名・その他一六名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「自らの尊さに目覚めて明日への糧

にしよう」

目 的

私たち教誨師が原点に立ち返り、被収容  
者と同じ目線で接し、信頼関係を構築する

中で、心の通い合う教誨を模索し、被収容

者が自らの罪を自覚し、他を思いやる心を

啓発できるよう実効と希望ある教誨に努め

る。

基調講演

「教誨の現況」

前名古屋矯正管区教誨師連盟会長

講義 石川 宣

「塀の中の嘶家 奮闘中」

東京拘置所篤志面接委員（女流落語家）

古今亭菊千代 氏

班別討議

発表者

富山刑務所所属教誨師

原 嘉伸

三重刑務所所属教誨師

川島 一郎

豊橋刑務支所所属教誨師

宮部 淳賢

瀬戸少年院所属教誨師

堂宮 唯能

助言者

名古屋矯正管区教誨師連盟会長

楠原 純孝

同補佐

岐阜刑務所教育統括

松井 祥一 氏

座長

岐阜県教誨師会理事

田尻 和光

## 6

第六七回大阪矯正管区教誨師研修大会

開催日 令和元年十一月二二日

場所 和歌山市

参加者

ホテルグランヴィア和歌山

総数

一八〇名

教誨師

一〇三名・矯正施設関係者

六九名・その他八名

主 題

「安らぎの心を求めて」

副 題

「『気づき』を生む教誨」

目的

教誨活動の研鑽と充実を目指して

講演

「生きる力を求めて」

「ここからだからの会話」

高野山大学准教授

和歌山県臨床心理士会長

「和敬喜心を胸に」

株式会社信濃路 代表取締役

西 平

都紀子 氏

補助事業

第二八回広島矯正管区教誨師研修会（JKA）

開催日 令和元年六月二七日

場所 浜田市

浜田ワシントンホテルプラザ

参加者 総数 一〇一名

教誨師五四名・矯正施設関係者四二名・その他関係者五名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「心の居場所を与える教誨」

目的

被収容者の心に寄り添い、今、成すべきことを共に見つめながら、明日へと歩んでいける心を養う教誨活動に資することを目的とする。

基調講演

「葛藤の語りによる変容」

「回復共同体（TC）の取り組みを通じて」

島根あさひ社会復帰促進センター

SSJ 株式会社社会復帰支援部心理職

高田 勉 氏

福永 恵子 氏

高田 勉 氏

講演

「地域共生社会の実現にむけて」

「我が事・丸ごとの地域づくり」

社会福祉法人いわみ福祉会理事長 室崎 富 恵 氏

第四四回高松矯正管区教誨師研修大会（JKA 補助事業）

開催日 令和元年七月二日～三日

場所 高松市 サンポートホール高松

参加者 総数 八五名

教誨師四〇名・矯正施設関係者三二名・その他一四名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「ともに歩む」

目的

所属教誨師の宗教教誨に関する研究協議の促進を図り、更に相互の親睦を図ることを目的とする。

基調講演

「多様な人たちを受容できる社会を目指して」

香川大学法学部教授 平野 美 紀 氏

研究発表

「教誨と通して学んだこと」

発表者 徳島県教誨師会所属教誨師 千葉 真仁

「教誨活動を通じて」

発表者 高知県教誨師会所属教誨師 福江 等

「私の教誨活動」

発表者 香川県教誨師会所属教誨師 漆間 法隆

パネルディスカッション

「それぞれの活動を通して見えてきたもの」

パネリスト

子ども食堂主催者 松山 滋氏

香川少年友の会理事 亀井 匡氏

高松市社会福祉協議会地域福祉課長補佐 大川 祐子氏

真宗大谷派深妙寺住職 久保 博巳

浄土宗浄願寺住職 上野 忠昭

コーディネーター

高松刑務所分類教育部長 三船 晃裕氏

第四三回福岡矯正管区教誨師研修沖縄大会

(JKA補助事業)

開催日 令和元年一月六日～七日

場所 那覇市 パシフィックホテル沖縄

参加者 総数一四五名

教誨師七九名・矯正施設関係者六六名

名

主 題 「安らぎの心を求めて」

副 題 「希望を信じて共に歩む教誨」

目 的

矯正施設の被收容者に対する宗教教誨の重要性に鑑み、福岡矯正管区内各施設の教誨師が会して、施設における宗教教誨事業を拡充強化し、時代に対応する教誨の諸問題や被收容者矯正の方策について研究討議する。

講 演

「琉球の宗教史～御嶽信仰と仏教史～」

神戸女子大学文学部教授

知名 定寛氏

分科会

① 刑事施設の部

福岡刑務所所属教誨師 原田 円城

長崎刑務所所属教誨師 大藪 朝祥

大分刑務所所属教誨師 丹羽 一誠

沖繩刑務所所属教誨師 宇佐 智明

② 少年施設の部

佐世保学園所属教誨師 辻本 良明

大分少年院所属教誨師 菊池 泰啓

中津少年院所属教誨師 晃 弘道

人吉農芸学院所属教誨師 松崎 義治

沖繩少年院所属教誨師 佐竹 広行

第二回国内自主研修会 in 富山

開催日 令和元年一月二四日～二五日

場所 富山市 富山刑務所ほか

参加者 総数一名

教誨師八名・事務局三名

目 的

歴史ある富山刑務所の状況を知り、教誨活動に幅と奥行きを深めるようにしたい。

成 果

歴史ある富山刑務所の状況及び富山刑務所で木彫指導を行っている井波彫刻家の工房を訪ね、井波彫刻の神髄を知り、教誨活動に幅と奥行きを深めることができた。

二 連絡調整関係

1 宗団代表者との連絡協議会(東京部会)

開催日 令和元年七月二四日

場所 東京都杉並区 立正佼成会 法輪閣

第四会議室

出席者 総数 二〇名

宗団代表者 八教宗団 一二名

全国教誨師連盟 八名

議 事

ア 報告事項

○平成三〇年度事業報告及び収支決算報告について

○平成三一年度(令和元年)事業計画及び収支予算について

○平成三〇年度宗団賛助金収納状況について

○周年大会の在り方及び近代教誨一五〇年について

○京都コンGRES二〇二〇について

○教宗団における教誨師の推薦権者について

○第五四回教誨師中央研修会について

○JKA(旧自転車振興会)からの補助について

イ 協議題

○その他当面の諸問題について

ウ 教宗団内における研修状況等について

宗団代表者との連絡協議会(京都部会)

開催日 令和元年一月九日

場所 京都市 西本願寺伝道本部二階研修室一～四

出席者 総数 三七名

宗団代表者 一四教宗団 一五名

全国教誨師連盟 二二名

議 事

ア 報告事項  
○平成三〇年度事業報告及び収支決算報

告について

○平成三〇年度宗団賛助金収納状況について

○平成三一年(令和元年)度事業計画及び収支予算について

○全国教誨師大会(広島大会)の準備状況について

○周年大会の在り方及び近代教誨一五〇年について

○京都コングレス二〇二〇について

○教宗団における教誨師の推薦について

○JKA(旧自転車振興会)からの補助について

○その他協議事項

3 第七回法務省矯正局との意見交換会

開催日 令和元年一二月一二日  
場 所 東京都千代田区 法務省矯正局一四階会議室

出席者 総数 一八名  
法務省矯正局 九名  
全国教誨師連盟 九名

協議事項

ア DVDの内容について

イ DVDの有効活用について

ウ 施設内での撮影について

エ 新任矯正職員への自序研修時、教誨立

会勤務をさせることについて

オ 矯正施設の廃庁に伴う仏壇等の取扱いについて

三 顕彰関係

生存者叙勲

藍綬褒章

全国教誨師連盟総裁表彰

法務大臣感謝状

日本宗教連盟理事長感謝状

全国教誨師連盟理事長感謝状

の方々が表彰されました。御芳名は別掲のとおりです。

りです。

四 各種刊行物等の発行

1 教誨師連盟だよりNo五七・五八号

令和元年七月及び令和元年一二月に発行。

2 教誨あれこれ五号

令和元年七月に発行。

3 全国教誨師会員名簿(令和元年度版)

令和元年八月に発行。

4 教誨第五四号「教誨師中央研修会記録」

令和二年三月に発行。

5 教誨受講啓発DVD「心のやすらぎをもとめて」

令和二年三月に完成。

て」

五 公益事業関係会議

○教誨師中央研修会関係

1 企画委員会

開催日 平成三一年四月一六日

場 所 東京都千代田区 法務省矯正局一四

階会議室

2 企画実行委員会

開催日 令和元年七月一七日

場 所 東京都千代田区 法務省矯正局一四階会議室

階会議室

出席者 総数 二四名

3 企画実行委員会

開催日 令和元年九月三日

場 所 東京都千代田区 法務省矯正局地下

講師控室

出席者 総数 二七名

4 評価委員会

開催日 令和元年九月五日

場 所 東京都千代田区 法務省地下小会議

室

5 企画実行委員会

開催日 令和元年一〇月一六日

場 所 東京都中野区 矯正会館四階会議室

出席者 総数 一〇名

6 企画委員会

開催日 令和元年一二月二日

場 所 東京都中野区 矯正会館四階会議室

出席者 総数 一四名

7 企画委員会

開催日 令和二年二月一三日

場 所 東京都中野区 矯正会館四階会議室

出席者 総数 八名

出席者 総数 八名



○DVD作成委員会関係

- 1 開催日 令和元年七月一〇日  
場所 東京都府中市 府中刑務所  
出席者 総数 七名
- 2 開催日 令和元年七月一七日  
場所 東京都中野区 矯正会館四階会議室  
出席者 総数 一〇名
- 3 開催日 令和元年九月三〇日  
場所 東京都中野区 矯正会館四階会議室  
出席者 総数 一三名
- 4 開催日 令和元年一〇月二〇日  
場所 東京都府中市 府中刑務所  
出席者 総数 一〇名
- 5 開催日 令和元年一二月六日  
場所 東京都千代田区 法務省矯正局一四階会議室  
出席者 総数 九名
- 6 開催日 令和二年一月九日  
場所 東京都中野区 矯正会館四階会議室  
出席者 総数 五名
- 7 開催日 令和二年二月一四日  
場所 東京都中野区 矯正会館四階会議室  
出席者 総数 五名

事業報告に關しての附属明細書はありません。

✳️平成三一年(令和元年)度管理業務  
関係報告

一 会議関係

○主要会議

- 1 第二七回理事会(常会)  
日時 令和元年五月一四日  
場所 東京都中野区 矯正会館四階第一会議室  
出席者 総数 二一名  
出席理事一三名・欠席理事一名  
監事一名・参与三名・事務局二名・  
オブザーバー(矯正局)一名
- 2 第九回評議員会  
日時 令和元年六月一四日  
場所 東京都港区 仏教伝道センタービル  
八階「和」  
出席者 総数 三九名  
出席評議員二八名・欠席評議員二名  
理事長・副理事長二名・監事二名・  
参与二名・事務局二名・オブザー  
バー(矯正局)二名

議事

第一号議案 「平成三〇年度事業報告及び

附属明細書の承認」の件(承認事項)

第二号議案 「平成三〇年度計算書類(貸

借対照表及び正味財産増減計算書)及び

附属明細書並びに財産目録の承認」の件

(承認事項)

第三号議案 「評議員会の日時及び場所並

びに目的である事項等」の件(決議事項)

第四号議案 「資金運用規程の一部改正」

の件(承認事項)

第五号議案 「交代人事」の件(承認事項)

第六号議案 「懲戒規程の制定」の件(協

議事項)

第七号議案 「周年大会の在り方及び近代

教誨一五〇年記念事業」の件(協議事項)

報告事項

①平成三〇年度の寄附募金結果について

②JKAからの助成金について

③協賛寄附金について

④広報委員会・DVD委員会の状況につい

て

⑤その他

議事

第一号議案 「平成三〇年度事業報告及び

附属明細書の承認」の件(決議事項)

第二号議案 「平成三〇年度計算書類及び

附属明細書並びに財産目録の承認」の件

(決議事項)

第三号議案 「顧問の推挙」の件(決議事

項)

第四号議案 「役員等の選任・解任」の件

(決議事項)

報告事項

①平成三〇年度管理業務関係報告について

②平成三一年度事業計画・予算について

③経理規程の一部改正について

④表彰規程の一部改正について

⑤新任教誨師研修規程の制定について

⑥資金運用規定の一部改正について

⑦周年大会の在り方及び近代教誨一五〇年記念事業について

⑧中央研修会について

⑨協賛寄附金の募金活動について

⑩JKAからの助成金について

### 3 第二八回理事会(臨時会)

日時 令和元年一〇月九日

場所 京都市 浄土真宗本願寺派伝道本部

三階会議室七

出席者 総数 二五名

出席理事一五名・欠席理事一名

監事二名・参与二名・事務局三名・

西本願寺 石上総長・山下総務・農

社会部長

### 議事

第一号議案 「教誨師委嘱解嘱規程の一部

改正」の件

### 4 第二九回理事会(常会)

日時 令和二年三月二日

場所 東京都千代田区 法務省二〇階第一

会議室

出席者 総数 二九名

出席理事一四名・欠席理事二名

監事二名・参与一名・事務局三名

矯正局 大橋局長以下一〇名

### 決議事項

①「周年記念大会積立金」の件

②「令和二年度事業計画書及び正味財産増

減予算書の承認」の件

③「令和三年・四年度の研修テーマ」の件

④「教誨師委嘱解嘱規程の一部改正」の件

⑤「外部委員」の件

⑥「新任教誨師研修規程の見直しの必要性」の件

### 報告事項

①賛助寄附金の受納状況について

②教誨師研修全国大会・地方大会に関する

報告

③JKAからの補助金について

④教誨活動紹介DVDについて

⑤京都コンGRESについて

⑥会議等の日程について

⑦教誨活動実施状況等について

○その他の会議

### 1 監事会

日時 平成三十一年四月二二日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第二会

議室

出席者 総数 六名

中野重孝監事・高岡精司監事

舍奈田理事長・中川副理事長・

竹岡副理事長・龍田事務長

### 議事

・平成三〇年度収支決算等及び業務の監査

総裁への業務報告

日時 令和二年一月二〇日

場所 東京都千代田区 パレスホテル東京

出席者 総数 八名

大谷総裁・山下西本願寺総務・農西

本願寺社会部課長

舍奈田理事長・中川副理事長・谷澤

事務長・龍田前事務長

### 主な報告事項

・平成三十一年(令和元年)度事業報告(中間)について

・その他

第一四回国連犯罪防止刑事司法会議(京都

コンGRES)の件

DVD「心のやすらぎをもとめて」の試写

### 3 顧問会議

日時 令和二年一月二〇日

場所 東京都千代田区 パレスホテル東京

出席者 総数 一四名

大谷総裁・但木顧問・青木顧問・山

田参与・近藤参与・舍奈田理事長・

中川副理事長・竹岡副理事長・高橋

副理事長・谷澤事務長・龍田前事務

長・山下西本願寺総務・農西本願寺

社会部課長

### 議事

・全国教誨師連盟の動向報告

・全国教誨師連盟の現状報告

・全国教誨師連盟の今後の展望について

・その他

第一四回国連犯罪防止刑事司法会議(京都

コンGRES)の件

DVD「心のやすらぎをもとめて」の試写

日時 令和二年二月七日

場所 東京都中野区 矯正会館第一会議室

出席者 総数 一五名

山田参与・舍奈田理事長・中川副理

専務・竹岡副専務・高橋副専務  
長・森田副専務長

札幌管区連盟 天野 広輝  
仙台管区連盟 徳力 賢隆  
東京管区連盟 藏田 秀樹  
名古屋管区連盟 榎 研治  
大阪管区連盟 大久保 洋  
広島管区連盟 小林 克哉  
高松管区連盟 上野 忠昭  
福岡管区連盟 川崎 文丸  
事務局 谷澤正次・佐藤 均

龍田恒夫

連絡・協議事項

- ・入会金・年会費の納付について
- ・協賛寄附金について
- ・役員等の交代事務手続きについて
- ・研修会の開催について
- ・JKAの補助金について
- ・教誨師研修会テーマについて
- ・その他

研修会関係費用について

会議等の日程について

管区別委嘱解嘱状況について

5 正・副専務長会議

平成三十二年四月四日～令和二年二月七日 六

回開催

6 広報委員会

(1)平成三十二年四月二四日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 四名

(2)令和元年五月三十一日～六月一日(矯正展参加)

東京都千代田区 科学技術館

出席者 延一・二名

(3)令和元年六月一三日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 七名

(4)令和元年七月一七日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 八名

(5)令和元年八月二九日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 八名

(6)令和元年九月五日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 七名

(7)令和元年九月三〇日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 九名

(8)令和元年一〇月二八日

東京都中野区 矯正会館四階第二会議室

出席者 八名

二 各種行事等への出席等

1 平成三十二年四月三日 舎奈田専務長、龍田

専務長が大本山萬福寺において開催された黄檗

宗御開山祥忌祭に出席した。

2 令和元年五月三〇日 舎奈田専務長が法務

省大会議室で行われた、春の褒章伝達式に参列

した。

3 令和元年五月三十一日・六月一日 科学技術

館で開催された第六一回全国矯正展に全国教誨

師連盟のブースを設け、舎奈田専務長、中川副

専務長等が広報活動を行った。

4 令和元年六月一七日 第五九回全真言宗教

誨師大会に祝電を發した。

5 令和元年六月一九日 衆議院第一議員会館

で開催された京都コンGRES二〇二〇を成功さ

せる議員連盟設立総会に舎奈田専務長、中川副

専務長、龍田専務長等が列席した。

6 令和元年八月二七日 神社本庁研修大会に

舎奈田専務長、龍田専務長等が列席した。

7 令和元年九月一日 京都・西本願寺での

京都コンGRES専門家会議に舎奈田専務長、中

川副専務長、龍田専務長等が列席し、全国教誨

師連盟の紹介をした。

8 令和元年一〇月七日 東京国際フォーラム

で開催した更生保護七〇周年記念大会に龍田前

専務長が参列した。

9 令和元年一〇月一七日 舎奈田専務長が仏

教伝道会館で行われた仏教伝道文化賞受賞式に

参列した。

10 令和元年一〇月二二日 舎奈田専務長が宮

殿において行われた即位礼正殿の儀に参列し

た。

11 令和元年一〇月二四日・二五日 第二回教

誨師国内自主研修会を開催した。(富山事務所、

千光院、瑞泉寺)(参加者一名)

12 令和元年一〇月三〇日 舎奈田専務長が矯

正研修所で高等科研修生に対し教誨師活動に関

する講義を行った。

13 令和元年一〇月三十一日 舎奈田専務長が宮

殿において行われた饗宴の儀に参列した。

14 令和元年十一月二六日 舎奈田専務長、中

川副理事長、竹岡副理事長及び谷澤事務長が真宗大谷派報恩講に参拝した。

15 令和元年二月一七日 舍奈田理事長が法務省大会議室で行われた、秋の褒章伝達式に参列した。

16 令和元年二月一八日 谷澤事務長、佐藤主事が東京矯正管区新任教誨師研修会に参列した。

17 令和二年一月七日 舍奈田理事長、竹岡副理事長及び谷澤事務長が矯正協会賀詞交換会に出席した。

18 令和二年一月八日 舍奈田理事長、竹岡副理事長、谷澤事務長及び龍田前事務長が寄附募金活動の一環として経団連等へ新年あいさつ回りをを行った。

19 令和二年一月三〇日 法務省地下大会議室で開催された京都コンGRES展示ブース説明会に、竹岡副理事長、谷澤事務長、龍田前事務長が参加出席した。

20 令和二年一月三十一日 矯正協会会長藤本哲也氏の叙勲祝賀会に舍奈田理事長が参列した。

21 令和二年一月三十一日 立川拘置所開設二〇周年記念式典に谷澤事務長、龍田前事務長が参列した。

22 各管区大会へ正副理事長が手分けして列席した。

三 内閣府関係

1 令和元年六月二四日 内閣府に「事業報告等に係る提出書」を提出した。

2 令和元年一月二〇日 内閣府から事業報告等に係る「修正可能書類通知書」を受領した。

3 令和元年一月二一日 内閣府に事業報告等に係る「修正提出書」を提出した。

4 令和二年三月三〇日 内閣府に令和三年度分の「事業計画書等に係る提出書」を提出した。

✿平成三十二年(令和元年)度受賞者御芳名

✿生存者叙勲(一三名)

深山 祐 日本基督教団 府中刑務所

富 祐彬 真宗大谷派 金沢刑務所・湖南学院

林 精應 真宗三門徒派 福井刑務所

土井 克彦 臨濟宗妙心寺派 京都刑務所・京都拘置所

麻生 弘道 高野山真言宗 大阪拘置所

山根 眞三 日本基督教団 貴船原少女苑・広島拘置所

旭 照愿 真言宗智山派 千葉刑務所

田代 弘興 真言宗豊山派 府中刑務所

伊佐 榮豊 真言宗豊山派 多摩少年院

友田 達祐 浄土宗 静岡刑務所

寶來 正彦 神社本庁 大阪刑務所

高野 顯信 浄土真宗本願寺派 美保学園

田中 哲彦 曹洞宗 広島刑務所

※深山師は瑞宝中綬章、他は瑞宝双光章

✿藍綬褒章(八名)

岡 撰也 ウェスレアン・ホーリネス教団 山形刑務所

小林 正夫 真宗大谷派 茨城農芸学院

大中 明英 浄土真宗本願寺派 黒羽刑務所

畔柳 俊雄 金光教 名古屋刑務所

福井 浄堂 浄土宗 和歌山刑務所

土橋 晃 日本基督教団 府中刑務所

山口 常賢 浄土宗 名古屋刑務所

本多 正尚 真宗大谷派 播磨学園

✿全国教誨師連盟総裁表彰(二六名)

柿崎 哲雄 曹洞宗 札幌刑務所

佐藤 雅晴 真言宗智山派 宮城刑務所

梅澤 徹玄 臨濟宗妙心寺派 宮城刑務所

渋谷 宣寛 神社本庁 山形刑務所

田村 勉 日本福音キリスト教会連合 茨城農芸学院

黒田 勲 救世軍 府中刑務所

根岸千恵子 神社本庁 東日本少年矯正医療・教育センター

林 文映 真言宗豊山派 長野刑務所

伊藤 佳通 日蓮宗 静岡刑務所・駿府学園

山口 常賢 浄土宗 名古屋刑務所

副野 均 神社本庁 名古屋刑務所

鷗飼 五大 真言宗智山派 瀬戸少年院

内藤 暁 日本基督教団 滋賀刑務所

松浦 寛法 曹洞宗 大阪刑務所

吉光 宏昭 浄土真宗本願寺派 大阪拘置所

藤本 潤 真宗大谷派 神戸刑務所

本多 正尚 真宗大谷派 播磨学園

三宅 喜憲 浄土宗 岡山少年院

吉田 正裕 真言宗御室派 広島刑務所

徳永 道隆 浄土真宗本願寺派 貴船原少女苑  
 清原 修 元 日本伝道隊 徳島刑務所  
 藤田 公道 真言宗東寺派  
 松山刑務所西条刑務支所  
 藤山 憲二 浄土真宗本願寺派 高知刑務所  
 楠 孝明 浄土真宗本願寺派 福岡少年院  
 田中 理 浄土真宗本願寺派  
 佐賀少年刑務所・麓刑務所  
 林 雅信 金光教 沖繩刑務所

法務大臣感謝状(二五名)

松本 哲朗 浄土真宗本願寺派 札幌刑務所  
 木村 良磨 浄土真宗本願寺派 札幌刑務所  
 伊藤 忠義 天理教 帯広刑務所・帯広少年院  
 照井 大観 真宗大谷派 青森刑務所  
 中野 重孝 曹洞宗 福島刑務所  
 松岡 啓順 浄土宗 福島刑務所  
 近藤 隆俊 真言宗智山派 黒羽刑務所  
 藤田 薫 カトリック 川越少年刑務所・東京拘置所  
 中本 信弘 天理教 府中刑務所  
 加藤 通幸 日蓮宗 名古屋拘置所  
 水無瀬量瑞 浄土真宗本願寺派 名古屋拘置所  
 内藤 幸男 天理教 三重刑務所  
 芥川 龍美 浄土真宗本願寺派 大阪刑務所  
 矢野 吉久 カトリック 大阪拘置所  
 根来 栄純 浄土真宗本願寺派 和泉学園  
 日岡 幾朗 神社本庁 神戸刑務所  
 後藤 正敏 天理教 神戸拘置所  
 高木 敏恒 西山浄土宗 和歌山刑務所

松本 光弘 シオン宣教団 松江刑務所  
 小橋 一皓 金光教 尾道刑務支所  
 川西 恵史 真言宗御室派 岩国刑務所  
 久保 博巳 真宗大谷派 高松刑務所  
 楠 法泉 浄土真宗本願寺派 麓刑務所  
 世良田静江 日本基督教団 麓刑務所  
 名幸 俊海 高野山真言宗 沖繩刑務所  
 白山 敏秀 真宗大谷派 札幌刑務所  
 一條 善人 神社本庁  
 渡部 栄常 盛岡少年刑務所・盛岡少年院  
 森 恵司 日蓮宗 福井刑務所  
 藤榮 行信 浄土真宗本願寺派 加古川刑務所  
 小林 健 金光教 加古川学園  
 佐藤 元宣 高野山真言宗 広島刑務所・広島拘置所  
 長内 敬一 日本基督教団 松山刑務所  
 藤山 憲二 浄土真宗本願寺派 高知刑務所  
 大庭 力 キリストの教会 福岡刑務所・福岡拘置所  
 松下 正信 浄土真宗本願寺派 筑紫少女苑・福岡刑務所  
 芥川 隆淨 浄土宗 熊本刑務所

（北九州医療刑務所・小倉拘置支所）  
 松江 孝行（三重刑務所）  
 朝日 舜雄（三重刑務所）  
 大場 正昭（静岡刑務所）  
 曾山 俊（金沢刑務所）  
 田原 法順（沖繩刑務所・那覇拘置所）

平成三十二年(令和元年)度物故者御芳名

謹んで哀悼の意を表します。

山頭 泰種 カトリック 神戸刑務所  
 寶池 龍祥 浄土真宗本願寺派 加古川刑務所  
 中村 要 神社本庁 加古川刑務所  
 前澤 隆康 真言宗豊山派 前橋刑務所・赤城少年院・榛名女子学園  
 青地 敬水 浄土真宗本願寺派 京都刑務所  
 山元 義清 神社本庁 滋賀刑務所  
 山口 道雄 天台宗 函館少年刑務所  
 北村 昌也 浄土真宗本願寺派 沖繩刑務所  
 津田 泉 真宗大谷派 網走刑務所  
 柳 了眞 真宗大谷派 川越少年刑務所  
 マヌエル・エルナンデス カトリック  
 猪飼 行諦 天台宗 播磨社会復帰促進センター

全国教誨師連盟に報告のあった二二名の方について掲載しました。

全国教誨師連盟理事長感謝状(八名)

教誨師として二〇年以上従事  
 作間 慈雄(山口刑務所)  
 木津 祐昌(福井刑務所)  
 藤本 弘文

✿平成三二年(令和元年)度寄附者御芳名

○協賛寄附金(敬称略)

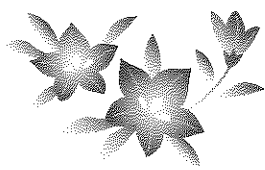
多額のご寄附をいただきまして誠にありがとうございました。

- 北海道 ▽一万円 福田洋 浄土真宗本願寺派 千正寺 本行寺 大岩メタルワークス 株式会社 ▽匿名 一名(一万円)
- 茨城県 ▽匿名 二名(二万円)
- 群馬県 ▽一万円 株式会社柳田石材店
- 東京都 ▽五万円 竹岡郁雄 ▽一万円 竹岡 郁芳
- 神奈川県 ▽匿名 一名(一万円)
- 愛知県 ▽五万円 大須観音寶生院 ▽二万円 法信公照 井田克彦 名古屋神召キリスト教会 館真知子 宗教法人真宗大谷派三河別院 愍重寺門徒一同 荒山 信 ▽一万円 天理教幅下大教会 ▽五千元 堀崎尚和 下条登代子 ▽匿名 九名(一七万円)
- 三重県 ▽五千元 田中勝博
- 大阪府 ▽一万円 寶來正彦宮司瑞寶雙光章受章祝賀会 ▽五千元 近藤龍樹 ▽匿名 一名(二万円)
- 広島県 ▽一万円 山根由美子 広島西部教会 ▽匿名 一名(五千元)
- 愛媛県 ▽一万円 丹下甫澄
- 高知県 ▽五千元 福江等
- 佐賀県 ▽五千元 宗專寺
- 大分県 ▽三万二千元 大分県教誨師会

- 宮崎県 ▽一万円 工藤海要
  - 本 部 ▽五千元 嵩海史
- (令和二年三月末日までの分です。)

○企業団体関係

- 公益財団法人 仏教伝道協会 様 金壹百五拾萬円也
- 公益財団法人 矯正協会 様 金八拾万円也
- 石油連盟 様 金壹拾五萬円也
- 一般社団法人 日本建設業連合会 様 金壹拾萬円也
- 一般社団法人 全国銀行協会 様 金八萬円也
- 一般社団法人 全国地方銀行協会 様 金五萬円也
- 日本鋳業協会 様 金五萬円也
- 日本証券業協会 様 金五萬円也
- 一般社団法人 信託協会 様 金式萬円也
- 一般社団法人 日本貿易会 様 金壹拾七萬円也
- 株式会社 日立ハイテクノロジーズ 様
- 三菱商事 株式会社 様 金壹萬円也
- 岩谷産業 株式会社 様 金壹萬円也
- 住友商事 株式会社 様 金壹萬円也
- 丸 紅 株式会社 様 金壹萬円也
- 長瀬産業 株式会社 様 金壹萬円也
- 双 日 株式会社 様 金壹萬円也
- JFE商事 株式会社 様 金壹萬円也
- 稲畑産業 株式会社 様 金壹萬円也
- 日鉄物産 株式会社 様 金壹萬円也
- 豊田通商 株式会社 様 金壹萬円也
- 伊藤忠商事 株式会社 様 金壹萬円也
- CBC 株式会社 様 金壹萬円也
- 興 和 株式会社 様 金壹萬円也
- 阪和興業 株式会社 様 金壹萬円也
- 兼 松 株式会社 様 金壹萬円也
- 三井物産 株式会社 様 金壹萬円也
- 一般社団法人 電機工業会 様 金壹拾參萬円也
- 三菱電機 株式会社 様 金五萬円也
- パナソニック 株式会社 様 金五萬円也
- 株式会社 東 芝 様 金參萬円也
- 日本製薬団体連合会 様 金五萬円也
- 第一三共 株式会社 様 金五萬円也
- 東京商工会議所 様 金式拾四萬円也
- 本田技研工業 株式会社 様 金參萬円也
- 株式会社 きらぼし銀行 様 金參萬円也
- 鹿島建設 株式会社 様 金參萬円也
- 旭化成 株式会社 様 金參萬円也
- 株式会社 三井住友銀行 様 金參萬円也
- 株式会社 資生堂 様 金參萬円也
- 東京急行電鉄 株式会社 様 金參萬円也
- 大崎電気工業 株式会社 様 金參萬円也



貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位：円)

科 目			当年度	前年度	増 減
I 資産の部	1. 流動資産	流動資産合計	15,886,436	15,095,456	790,980
	2. 固定資産	基本財産合計	118,180,083	118,312,776	-132,693
		特定資産合計	1,498,000	4,460,000	-2,962,000
		その他固定資産合計	1	1	0
		固定資産合計	119,678,084	122,772,777	-3,094,693
	資産合計	135,564,520	137,868,233	-2,303,713	
II 負債の部	1. 流動負債	流動負債合計	175,631	201,289	-25,658
	2. 固定負債				
		負債合計	1,173,631	4,661,289	-3,487,658
III 正味財産の部	1. 指定正味財産	指定正味財産合計	114,381,572	114,512,952	-131,380
		(うち基本財産への充当額)	(114,381,572)	(114,512,952)	(-131,380)
		(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
	2. 一般正味財産	一般正味財産合計	20,009,317	18,693,992	1,315,325
		(うち基本財産への充当額)	(3,798,511)	(3,799,824)	(-1,313)
		(うち特定資産への充当額)	(500,000)	(0)	(500,000)
		正味財産合計	134,390,889	133,206,944	1,183,945
	負債及び正味財産合計	135,564,520	137,868,233	-2,303,713	

財産目録

令和2年3月31日現在 (単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	454,414	
	預 金	普通預金	運転資金として	9,644,337	
	郵便振替	ゆうちょ銀行新井支店	運転資金として	5,395,223	
	前払金	広島・高松矯正管区教諭師連盟	次年度研修委託費	392,462	
流動資産合計				15,886,436	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券他	第45回変動利付国債(15年)他	118,180,083	
	特定資産	定額預金 他	中野新井郵便局 他	退職給付引当金として積立	998,000
		預 金	三井住友銀行中野支店	創立75周年事業費用として積立	500,000
	その他固定資産	什器備品	カードプリンタ	教諭師委嘱業務用	1
固定資産合計				119,678,084	
資 産 合 計				135,564,520	
(流動負債)	未払金	社会保険庁に対する未払金	雇用者負担分社会保険料	68,425	
	預り金	社会保険庁に対する支払い分	本人負担分社会保険料	66,997	
		税務署に対する支払い分	源泉徴収所得税	30,909	
		地方自治体に対する支払い分	一般徴収住民税	9,300	
流動負債合計				175,631	
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	998,000	
固定負債合計				998,000	
負 債 合 計				1,173,631	
正 味 財 産				134,390,889	

平成31年度正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	当年度計	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
①基本財産運用益	359,392	239,595	598,987	598,987	0
②特定資産運用益	1,978	1,319	3,297	38,478	-35,181
③受取入金	1,164,000	776,000	1,940,000	1,400,000	540,000
④受取会費	11,130,000	7,420,000	18,550,000	18,790,000	-240,000
⑤受取補助金等	6,835,659	0	6,835,659	3,547,000	3,288,659
⑥受取寄附金	23,652,400	6,411,100	30,063,500	20,299,000	9,764,500
⑦雑収益	1,457,500	583,496	2,040,996	2,067,121	-26,125
経常収益計	44,600,929	15,431,510	60,032,439	46,740,586	13,291,853
(2)経常費用					
給料手当	5,093,442	3,395,628	8,489,070	8,233,800	255,270
退職給付費用	311,040	207,360	518,400	531,000	-12,600
法定福利費	544,051	362,700	906,751	752,959	153,792
福利厚生費	0	0	0	0	0
役員報酬	96,552	413,625	510,177	587,537	-77,360
地方研修委託費	26,864,802		26,864,802	17,191,723	9,673,079
新任教諭師研修費	880,000		880,000	0	880,000
管区管理運営費		632,800	632,800	553,200	79,600
旅費交通費	3,804,220	3,789,180	7,593,400	7,111,860	481,540
通信運搬費	961,052	214,932	1,175,984	1,131,907	44,077
消耗什器備品費	0	5,400	5,400	4,093	1,307
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗品費	152,347	25,965	178,312	140,027	38,285
印刷製本費	2,946,262	1,363,588	4,309,850	3,069,263	1,240,587
役務費	2,136,600	0	2,136,600	378,550	1,758,050
会議費	1,157,701	993,188	2,150,889	2,311,259	-160,370
顕彰費	215,920	0	215,920	240,680	-24,760
慶弔儀礼費	107,932	147,746	255,678	221,958	33,720
賃借料	138,571	113,981	252,552	230,952	21,600
諸謝金	0	0	0	140,000	-140,000
租税公課	0	1,650	1,650	2,450	-800
顧問報酬		1,063,200	1,063,200	1,058,400	4,800
支払手数料	21,267	95,162	116,429	71,012	45,417
諸会費		69,700	69,700	9,500	60,200
事務費	25,436	16,958	42,394	54,353	-11,959
雑費	194,470	152,686	347,156	680,180	-333,024
経常費用計	45,651,665	13,065,449	58,717,114	44,706,663	14,010,451
当期経常増減額	-1,050,736	2,366,061	1,315,325	2,033,923	-718,598
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,050,736	2,366,061	1,315,325	2,033,923	-718,598
一般正味財産期首残高	-23,284,465	41,978,457	18,693,992	16,660,069	2,033,923
一般正味財産期末残高	-24,335,201	44,344,518	20,009,317	18,693,992	1,315,325
II 指定正味財産増減の部					
1. 指定正味財産増加額					
基本財産運用益	275,433	183,622	459,055	459,055	0
指定正味財産増加額計	275,433	183,622	459,055	459,055	0
2. 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	354,261	236,174	590,435	590,435	0
一般正味財産への振替額計	354,261	236,174	590,435	590,435	0
当期指定正味財産増減額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
指定正味財産期首残高	68,707,771	45,805,181	114,512,952	114,644,332	-131,380
指定正味財産期末残高	68,628,943	45,752,629	114,381,572	114,512,952	-131,380
III 正味財産期末残高	44,293,742	90,097,147	134,390,889	133,206,944	1,183,945



# 令和二年度事業計画

## 一 教誨師研修事業

教誨師及び教誨師になろうとする宗教家を対象とし、教誨活動を充実発展させるために教誨師として必要な幅広い知識の蓄積と教誨技術の習得、向上を図るため、全ての教誨師等が均しく研修会に参加できるように中央研修会を行うとともに各矯正管区教誨師連盟（任意団体）に委託して毎年開催を変えながら全国八カ所の地方において能力開発のための研修を行う。

また、教誨師研修会に参加できなかった教誨師等に対しても同様の知識等の吸収を可能ならしめるため、教誨師中央研修会の状況を記録した機関紙「教誨」及び地方研修会を含めた記録を電子化した研修会記録CDを毎年一回、当連盟の活動状況及び主な教誨団における教誨師の研修状況等を記載した機関紙「教誨師連盟だより」を年二回発行し、全ての教誨師、矯正施設、並びに多くの教誨団、その他に無料で頒布する。

### 1 第五回教誨師中央研修会

日程 令和二年一〇月八日（木）～九日

（金）

場所 東京都千代田区

参加予定人員 八〇名

### 2 第五六回札幌矯正管区教誨師研修大会

日程 令和二年六月一六日（火）～一七日

（水）

場所 北海道函館市

参加予定人員 九〇名

### 3 第六二回仙台矯正管区教誨師研修山形大会

日程 令和二年一〇月一五日（木）～一六日（金）

場所 山形県山形市

参加予定人員 八〇名

### 4 第六三回東京矯正管区教誨師研修群馬大会

日程 令和二年六月二三日（火）～二四日

（水）

場所 群馬県渋川市

参加予定人員 二九〇名

### 5 第六四回名古屋矯正管区教誨師研修大会

日程 令和二年六月二三日（火）～二四日

（水）

場所 愛知県名古屋

参加予定人員 一〇〇名

### 6 第六八回大阪矯正管区教誨師研修大会

日程 令和二年一〇月二日（金）

場所 大阪府大阪市

参加予定人員 一三〇名

### 7 第四五回広島矯正管区教誨師研修大会

日程 令和二年六月一八日（木）～一九日

（金）

場所 鳥取県鳥取市

参加予定人員 一〇〇名

### 8 令和二年度高松矯正管区教誨師研修会

日程 令和二年七月二日（木）

場所 香川県高松市

参加予定人員 四五名

### 9 第三八回全国教誨師大会（第二二回福岡矯正管区教誨師研修会）

日程 令和二年一月一〇日（火）～一一日（水）

場所 鹿児島県鹿児島市

参加予定人員 五〇〇名

### 10 第三回国内自主研修会

日程 未定

場所 未定

参加予定人員 二〇名

### 11 新任教誨師研修

日程 各施設教誨師会において設定

場所 各地

参加予定人員 八〇名

## 予算額

中央研修会

費用総額

二、五六五、〇〇〇円

参加費等収入

七〇〇、〇〇〇円

補助金等収入

四〇〇、〇〇〇円

地方研修会（八カ所）

費用総額

三〇、〇〇〇、〇〇〇円

補助金等収入

九、六〇〇、〇〇〇円

国内自主研修

費用総額

一、一五〇、〇〇〇円

参加費等収入

一、〇〇〇、〇〇〇円

新任教誨師研修

費用総額

一、二五〇、〇〇〇円

「教誨」誌

費用総額

一、四七〇、〇〇〇円

研修会記録CD

費用総額

五九〇、〇〇〇円

「教誨師連盟だより」

費用総額

一、〇〇〇、〇〇〇円

## 二 教誨師顕彰等事業

長年多数回にわたり教誨活動に従事している教誨師を顕彰し、当人はもとより他の教誨師にも励みとなり、更に教誨活動に精励するよう鼓舞するとともに、矯正施設においてボランティアとしての教誨活動が被收容者等の改善更生への一助となっていることを広く社会に発信する事業である。本年度は第三八回全国大会の教誨事業功労者表彰式典において顕彰する。

費用総額

一、五二一、〇〇〇円

## 三 教誨活動等に関する情報収集等事業

より有意義な研修を計画し、また教誨師としてより有為な宗教家を推薦してもらうため、教誨師研修や教誨師選任に関して、教宗団代表者から情報を得、また関連事項の調整、並びに教誨活動の活発化等のための提言事業。

教宗団の本部が集中している京都と東京で、情報交換等の協議会を行う。

費用総額

七九〇、〇〇〇円

法務省矯正局との意見交換会

費用総額

二一六〇、〇〇〇円

## 四 教誨師選任事業

憲法の規定により国自体の宗教活動が禁止されていることから、教誨活動を行う教誨師を選ぶために、国は自ら宗教家と接触することができない。

国に代わり、全国の矯正施設が必要とする教誨師を選任するため関係する宗教団体と協議して有能な宗教家を推薦してもらい、あるいは教

誨師を希望する宗教家に対してその資格を審査し、適切な矯正施設へ紹介する事業。ちなみに現在一、八二二名の教誨師を擁し、その所属する教宗団は一〇〇を超えている。また、毎年一〇〇名近くの宗教家を新たに教誨師として委嘱している。

教誨師の選任が公正に行われていることを証するため、矯正施設別の所属教誨師名を記載した教誨師名簿を二年に一回発行し、全ての教誨師、矯正施設、並びに多くの教宗団、その他に無料で頒布している。

教誨師選任

費用総額

八〇、〇〇〇円

「全国教誨師会員名簿」

費用総額

〇円

## 五 教誨活動充実発展のための事業

1 教誨活動は被收容者に対する宗教的アプローチにより人間性の回復が図られ、それが改善更生に繋がるものである。しかし宗教家が行う教誨活動は教誨師側から個々の被收容者に対して直接働きかけることはできないことから、教誨師にとつては、ひたすら被收容者から希望が出されることを待つのである。そこで、教誨活動の充実発展を支援策として、被收容者に対して教誨活動を周知するようにする。

被收容者には矯正施設に入ったとき、施設側から教誨に関する簡単な説明を受けてはいるが、日々の生活に関する多くの細かな事柄をおぼえなければならぬ時に、教誨に関する説明がどの程度理解されるか、はなはだ心もとない。

教誨に関する説明のDVDを作成し、施設に入所時等に放映されると、多くの被收容者に理解され、自ら教誨を受けようという気持ちになることが期待される。作成されたDVDは全国の矯正施設に無料配布し、入所時指導や刑執行開始時の指導はもろんのこと、日々の連絡事項の一部として活用してもらうようにする。

また、この効果について、継続的に検証を行い、更によりDVD等の作成につなげるようにする。

教誨受講啓発DVD作成(面会者用)

費用総額

一三三〇、〇〇〇円

2 国際連合主催の第一四回国連犯罪防止刑事司法会議(京都コンGRES)において、参加者に対し英語版の教誨版パンフレットを配布し、全国教誨師連盟の理念や活動について、国際的な認知度を高め、さらなる教誨活動充実発展を図る。

パンフレット作成

費用総額

五〇〇、〇〇〇円

共通経費

事業に要する費用額合計

一、五三一、〇〇〇円

○借入れによる資金調達及び設備投資の予定はない。

※この事業計画は三月二日開催の理事会において

決議されたものであり、新型コロナウイルスの蔓延の影響で多くが中止等となっています。

令和2年度正味財産増減予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで (単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	令和2年度 予算(A)	平成31年度 予算(B)	増 減 (A) - (B)
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益	360,000	240,000	600,000	600,000	0
受取入会金	960,000	640,000	1,600,000	1,600,000	0
受取会費	11,400,000	7,600,000	19,000,000	19,000,000	0
受取補助金等	10,300,000	0	10,300,000	3,300,000	7,000,000
受取寄附金	21,460,000	6,240,000	27,700,000	21,000,000	6,700,000
雑収益	2,130,000	360,000	2,490,000	2,490,000	0
経常収益計	46,610,000	15,080,000	61,690,000	47,990,000	13,700,000
(2)経常費用					
給料手当	4,940,400	3,293,600	8,234,000	7,690,000	544,000
退職給付費用	270,000	180,000	450,000	490,000	-40,000
法定福利費	534,000	356,000	890,000	890,000	0
福利厚生費	12,000	8,000	20,000	20,000	0
地方研修委託費	30,000,000		30,000,000	16,128,000	13,872,000
新任教諭師研修費	1,250,000		1,250,000	1,250,000	0
管区管理事務費		600,000	600,000	600,000	0
役員報酬	100,000	400,000	500,000	470,000	30,000
旅費交通費	5,000,000	3,600,000	8,600,000	7,205,000	1,395,000
通信運搬費	935,000	380,000	1,315,000	1,275,000	40,000
消耗什器備品費	110,000	80,000	190,000	30,000	160,000
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗品費	100,000	50,000	150,000	146,000	4,000
印刷製本費	2,500,000	1,250,000	3,750,000	4,605,000	-855,000
役務費	350,000	150,000	500,000	2,000,000	-1,500,000
会議費	1,200,000	1,170,000	2,370,000	2,340,000	30,000
顕彰費	300,000		300,000	250,000	50,000
慶弔儀礼費	175,000	150,000	325,000	325,000	0
賃借料	200,000	100,000	300,000	300,000	0
諸謝金	500,000		500,000	500,000	0
租税公課	2,000	2,000	4,000	4,000	0
顧問報酬		1,078,000	1,078,000	1,059,000	19,000
支払手数料	15,000	70,000	85,000	85,000	0
諸会費	0	30,000	30,000	30,000	0
事務費	80,000	60,000	140,000	140,000	0
雑費	110,000	30,000	140,000	140,000	0
経常費用計	48,683,400	13,037,600	61,721,000	47,972,000	13,749,000
当期経常増減額	-2,073,400	2,042,400	-31,000	18,000	-49,000
2. 経常外増減の部			0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,073,400	2,042,400	-31,000	18,000	-49,000
一般正味財産期首残高	-26,284,465	44,996,457	18,711,992	18,693,992	18,000
一般正味財産期末残高	-28,357,865	47,038,857	18,680,992	18,711,992	-31,000
II 指定正味財産増減の部					
債券償却額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
当期指定正味財産増減額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
指定正味財産期首残高	68,628,943	45,752,629	114,381,572	114,512,952	0
指定正味財産期末残高	68,550,115	45,700,077	114,250,192	114,381,572	0
III 正味財産期末残高	40,192,250	92,738,934	132,931,184	133,093,564	-31,000

(注) 平成31年度予算の期首残高は、平成30年度正味財産増減計算書の期末残高とした。

令和2年度予算の期首残高は、平成30年度正味財産増減計算書の期末残高に平成31年度正味財産増減予算書当期の正味財産増減額を加減した額とした。

★公益財団法人JKAの公益資金補助事業

一 令和元年度の競輪公益資金による補助金は、令和二年二月二日、各管区教誨師連盟事務局に次のとおり送金しました。

札幌管区	七三七、〇〇〇円(月形)
仙台管区	一、一六四、〇〇〇円(青森)
東京管区	二、五五二、〇〇〇円(東京)
名古屋管区	一、〇一三、〇〇〇円(名古屋)
広島管区	四九六、〇〇〇円(島根)
高松管区	三五〇、〇〇〇円(香川)
中 央	二二三、五六九円
総 額	六、五三五、六五九円

二 令和二年度の競輪公益資金による補助事業総額を一八、三三三、〇〇〇円とし、その半額相当の九、一六六、五〇〇円を申請しましたが、本年四月一日付けで補助金総額九、一六六、〇〇〇円の内定通知書の伝達がありました。令和元年度と同様に要求した額と同額の補助金額となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、各研修会は中止(延期)となっておりますが、令和二年度のJKAからの補助金につきまして、各管区へ送金します補助金額について、左記のとおりお知らせいたします。(補助金には、旅費と会場費が含まれています。研修会を実施しない場合、送金はありません。)

札幌管区	一、五八五、一〇〇円(函館)
仙台管区	六八五、五〇〇円(山形)
東京管区	二、六〇〇、〇〇〇円(群馬)

名古屋管区	一、七八五、四〇〇円(名古屋)
広島管区	七五七、五〇〇円(鳥取)
高松管区	三一、五〇〇円(香川)
福岡管区	一、一九五、〇〇〇円(鹿児島)
中 央	二四六、〇〇〇円
総 額	九、一一六、〇〇〇円

三 研修会実施証写真等は、日付が入るように設定して全てデジタルカメラで撮影し、必ず日付が入るように設定してください。また、裏面には、撮影場面の説明を記載してください。

四 決算書(証拠書類)及び研修実施報告書は研修会終了後速やかに処理し、早めに提出してください。JKAから補助金を受ける研修会は精算申請書を提出することになりますが、申請が遅れると補助金の支払が行われません。また、完了届が提出できず困った状況になりますので、くれぐれもご注意ください。

五 令和三年度JKA補助事業を計画するあたり、JKA補助事業審査・評価委員会からの主な意見として「今後の取り組みとして少年非行等の若年者への更生や教育への取り組みも検討してください。」(抜粋)が附されましたのでご承知願います。

六 令和三年度の補助金要望書について、各管区連盟を通して関係書類を提出してください(提出期限は、本年八月三日)。

七 令和三年度・四年度の研修会の統一テーマは「新しい時代と共に」となりましたのでご連絡いたします。

競輪公益資金による

補助事業完了のお知らせ

この度二〇一九(令和元)年度の競輪公益資金の補助金を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

- 1 事業名
  - 二〇一九(令和元)年度地域社会の安全・安心に資する活動補助事業(教誨師研修会の開催)
- 2 事業の内容
  - ア 教誨師中央研修会
  - イ 教誨師管区研修会(全国六か所)
- 3 補助金額 六、五三五、六五九円
- 4 完了年月日 令和二年二月二日

